

患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 関節リウマチ患者の手関節における診察所見と超音波所見の乖離についての検討』

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院膠原病リウマチ科では、関節リウマチ患者さんの手の関節において診察での評価と超音波検査での評価の違いを調べることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、診察手技の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2011年10月～2014年12月までに東邦大学医療センター大橋病院膠原病リウマチ科において、関節リウマチの診断で診療を受けた中で両方の手首の関節超音波検査を行った患者さん（約200例）を対象として、診療録（カルテ）から抽出した臨床データと超音波検査データを解析します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することを予定していますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ないように細心の注意を払って対策を講じています。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。研究利用を承諾されなくても今後の診療には全く影響がありませんので、どうぞご安心ください。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院膠原病リウマチ科

職位・氏名 講師 小倉剛久

電話 03-3468-1251 内線 7526